



## (2) 24年度の位置づけ

### 事業の方針

企画展や通年で行っているアトリエ講座等の内容を充実させ、市民が美術に触れる機会(鑑賞・参加)を数多く提供します。男女共同参画センター北との連携により、複合施設の特性を生かしたプログラムを実施します。市民協働事業ではアートサポーターをはじめとする市民参加の成果が出ていることから、今後も事業展開を通して市民がアートと出会う機会を増やします。他館との連携も強化し、横浜美術館や横浜市民ギャラリー(関内)との広報協力でも市民に美術情報を提供するほか、情報交換や企画協力によって講座等の内容をよりよいものにします。横浜市民ギャラリー(関内)とは、2年後に共同企画展の実現を目指し、準備に入ります。

今年度から「あざみ野フォト・アニュアル 横浜市所蔵カメラ・写真コレクション展+企画展」の開催時期(平成23年度までは10月)を2月へ変更し、横浜市所蔵カメラ・写真コレクションの収蔵館として「フォト・ヨコハマ」への協力・連携を推進します。

### 運営の方針

貸館利用者のサービス向上、バリアフリーの推進等、センター横浜北と共同で利用者の居心地のよい施設運営を行います。利用者の目線に立って希望を受け止め、芸術文化活動の成果が最大限発揮できるよう、専門的なサポートを行います。また、横浜市所蔵カメラ・写真コレクションの整理・保存・活用を適切に行います。

### 管理の方針

設備や備品の適切な保守管理に努め、アートフォーラムあざみ野全体で環境に配慮するとともに、安心して明るく使いやすい施設管理に取り組みます。

## 4 事業に関する業務計画

### (1) 文化芸術に直接出会える場について

[業務内容]	[達成指標]
展覧会事業 アートに出会える場として、横浜にある芸術文化資源を生かした企画(「横浜 wo 発掘 suru 展」)、子どもから大人まで楽しめる参加型の企画(「あざみ野こどもぎやらい」)、アーティストの現在の表現活動に目を向け、ダンスフェスティバルとも連携した企画(「あざみ野コンテンポラリー」)、カメラ・写真の企画(「横浜市所蔵カメラ・写真コレクション+写真展」)など、多彩な展覧会を実施します。	4回の展覧会で、関連事業を含め入場者数12,000人以上。 アンケートを実施し、企画展4回の平均満足度4.6以上。

(2) 市民やアーティストの創造活動の支援の場について

<p><b>[業務内容]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●市民のためのワークショップ 美術創作の基礎基本の習得を目的とした講座や、アーティストによるレクチャーと制作を行う講座等を実施します。</li> <li>●創造活動支援 ホワイエに設置した展示ケースで、アーティストの小品展「ショーケースギャラリー」を行います。</li> <li>●市民協働企画 アートの領域を広げ、生活の中にあるさまざまなことを学ぶ場・「あざみ野カレッジ」を実施します。コンテンポラリーの企画展等においてサポーターに運営に関わっていただき、新進アーティストを紹介します。その中で1人のアーティストを「今年の顔」として継続的に支援します。</li> </ul>	<p><b>[達成指標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① <input type="checkbox"/> 市民のための講座・ワークショップを年間8講座以上実施し、幅広い創作の機会を提供するとともに制作の支援をします。</li> <li>② <input type="checkbox"/> 講座・ワークショップ参加者延べ 850 人以上、平均満足度 4.6 以上。</li> <li>③ <input type="checkbox"/> ショーケースギャラリーで新進アーティストによる展示を 6 回実施し、新たな作品発表の場となるようサポートします。</li> <li>④ <input type="checkbox"/> あざみ野カレッジは、5 年間で学生数 1,000 名を目指します。(24 年度 200 名)</li> </ul>
--	---

(3) 次代を担う子どもの創造性教育の場について

<p><b>[業務内容]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 財団中期経営計画の基本施策「3.未来の横浜を担う子どもの創造性を育むための仕組みづくり」の目標達成に取り組みます。</li> <li>●子どものためのプログラム 創造活動の場として、親子が粘土、紙、えのぐで遊べる造形ひろばや、幼児・児童・個別支援学級や特別支援学校に通う親子を対象にした多彩なワークショップを開催します。また、男女共同参画センターと共同で、音楽に親しむ事業として「ジュニアコーラス」を行います。</li> <li>●学校教育との連携</li> </ul>	<p><b>[達成指標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① <input type="checkbox"/> 子どものためのワークショップを年間 10 講座以上実施し、心と体をつかっのびやかに活動することを通して、心身の健康やかな成長を育みます。</li> <li>② <input type="checkbox"/> 親子のフリースペースを含め、子どものためのプログラムへの参加者延べ 8,200 人以上。</li> <li>③ <input checked="" type="checkbox"/> 学校教育との連携を推進するため、中学校教諭の美術研究会の研修に協力します。</li> <li>④ <input type="checkbox"/> アーティストと共に近隣の小中学校へ出向いて生徒と一緒に創作を行う、美術アウトリーチ事業を 5 回以上実施します。学校の授業とは違ったアートの体験を子どもたちに提供します。</li> </ul>
---	--

<p>鑑賞事業として展覧会を活用してもらうための連携事業を開催するほか、教師を対象に鑑賞・実技のワークショップを開催します。また、中学や高校美術の先生と連携し、事業への参加を促します(ティーチャーズあざみ野プロジェクト)。</p> <p>●アウトリーチ</p> <p>「横浜市芸術文化教育プログラム」に協力し、コンテンポラリーアートに親しむプログラム等を実施します。</p>	
---	--

(4) 創造活動と社会、市民活動を結びつける場について

<p><b>[業務内容]</b></p> <p>○サポートコーディネートをします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北部4区美術公募展</li> </ul> <p>実行委員会と共催し、市民の創作活動の発表の場を提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青葉区民芸術祭</li> </ul> <p>絵画・書道・写真・茶道・文芸など、施設全体を総合的な芸術活動による市民交流の場とします。</p> <p>●街なかアートプロジェクト</p> <p>地域のさまざまな市民活動と結びつき、出張事業を行います。</p>	<p><b>[達成指標]</b></p> <p>① <input type="checkbox"/> 北部公募展の拡がりや定着を反映し、展示室全面を利用して展覧会を開催します。応募総数250点以上。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 青葉区民芸術祭は前・後期で入場者数5,000人以上。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> アート屋台などを活用し、街なかアートプロジェクトを5年間で15事業実施。(24年度は3事業)</p>
---	---

(5) 創造活動を介した人々の関わり合いの場について

<p><b>[業務内容]</b></p> <p>●フェローアートギャラリー</p> <p>障がいのあるなしにかかわらず認め合える豊かな関係を築くことを目指し、作品展示を通して特別支援学校や作業所での創造活動を支援します。</p> <p>●アーティストと市民の交流</p> <p>市民協働で運営するアートカフェ、アートガーデン、アートワゴン</p>	<p><b>[達成指標]</b></p> <p>① <input type="checkbox"/> フェローアートギャラリーにおいて2組以上の展示発表を実施し、幅広い創作の機会を提供するとともに制作の支援をします。</p> <p>② <input type="checkbox"/> アートカフェを3回、アートワゴンを9回、あざみ野ナイトを1回実施します。自主事業との相乗効果で来館者を増やし、充実した芸術文化体験の場を提供します。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> あざみ野ナイト開催日の来館者数2,200人以上。</p>
---	--

<p>通じ、市民とアーティストが知り合う場、アーティストや障がいのある人たちのアート作品を発表・販売する場を創出します。</p> <p>●あざみ野ナイト</p> <p>建物の壁面や窓ガラスを使って映像作品を映し出すイベントを行い、アートを生かした親しみやすく賑わいのある場をつくります。</p>	
---	--

## 5 施設の運営に関する業務計画

### (1) 人員配置について

項目	人数	備考
館長	1人	課長級
副館長	1人	係長級
職員	8人	臨時職員含む

### (2) 勤務体制について

基本：早番（8：45～17：30）2名、遅番（12：30～21：15）2名  
（全職員によるローテーション制）

### (3) 市民の利用を促進することについて

[業務内容]	[達成指標]
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 引き続きアトリエの平日夜間料金を半額とし、新規利用者開拓と利用促進を図ります。</li> <li>● ほぼ 100%利用となっている展示室については、遺漏のない貸し出し業務を行います。</li> <li>● 利用団体の展覧会情報をHPで紹介し、広報協力をします。</li> <li>● 利用者の意図が最大限発揮できるよう具体的なアドバイスをします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① <input type="checkbox"/> アトリエの目標利用率:5年間で70%(24年度は65%)</li> <li>② <input type="checkbox"/> アトリエの夜間の24年度目標利用率:25%。</li> <li>③ <input type="checkbox"/> アンケートによる利用者の満足度4.6以上を目指します。</li> </ul>

### (4) 施設運営における市民参画を促進することについて

<p><b>[業務内容]</b></p> <p>●「あざみ野アートサポーター」との協働を推進し、展覧会、ワークショップおよび広報事業にご協力いただきます。</p>	<p><b>[達成指標]</b></p> <p>① <input type="checkbox"/>アートサポーターは、5年間で150名登録を目指します。(22年度末で約130名、24年度は140名を目標とします)</p> <p>■アートサポーターに、企画展の事前調査やアーティストの制作補助への協力のほか、企画展レポートの執筆など、広報事業でも活動していただきます。</p>
---	--

(5) 積極的な広報を展開することについて

<p><b>[業務内容]</b></p> <p>● 情報誌「アートあざみ野」で、貸館利用者の情報のほか、当館の事業活動のPRをします。</p> <p>● メルマガの登録者(「あざみ野メンバーズ」)を増やし、事業やサポーター活動情報などの新鮮な情報発信をします。</p> <p>● 「あざみ野アートネットワーク」として、ホームページを活用し、横浜のアート情報にアプローチしやすくするとともにネット広報事業を推進します。</p> <p>● 施設の活動が的確に多くの市民に伝わるよう、様々な媒体を通じて広報を行い、来館者増につなげます。</p>	<p><b>[達成指標]</b></p> <p>① <input type="checkbox"/>ホームページアクセス件数は、年間45万件以上を目指します。</p> <p>② <input type="checkbox"/>あざみ野メンバーズは、目標登録者数を5年間で10,000名とします。</p> <p>③ <input type="checkbox"/>メールマガジンやホームページでのアート情報発信を推進します。メールマガジンは月1回の定期配信をします。</p> <p>④ ■広報する内容によって有効な媒体を選択し、コストパフォーマンスを高めます。</p>
---	---

(6) 市民ニーズ、市民満足度等の把握と対応について

<p><b>[業務内容]</b></p> <p>● 顧客満足度調査(アンケート)を実施し、分析結果を管理運営に反映していきます。</p>	<p><b>[達成指標]</b></p> <p>① ■利用者サービスの向上を図るため、クレームや意見について職員の情報共有と検討を行い、迅速な運営改善につなげます。</p> <p>■美術館×インクルーシブ×デザイン実行委員会のメンバーとして参加している「みんなの美術館プロジェクト」の提案を受け、障がいのある人を対象にしたギャラリーツアーの実施や、サインの工夫をします。</p>
--	---

(7) カメラ・写真コレクションの適切な収蔵、保管、調査、研究、発表、活用、展示について

<p><b>[業務内容]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 収蔵庫管理 適切な収蔵庫管理を行います。</li> <li>● 管理・保存 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料の映像記録やデータベースを整備します。</li> <li>・ 日常的に状態を確認し、必要な修復等を行い、適切な保存に努めます。</li> </ul> </li> <li>● 調査・研究・発表 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主要な機関と連携して調査研究を進めます。</li> <li>・ 市民のためのワークショップにおいて、資料を活用します。</li> <li>・ ショーケースギャラリーにおいて小展示を行います。</li> </ul> </li> <li>● 活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貸出、熟覧に柔軟に対応します。</li> </ul> </li> <li>● 横浜市の写真関連事業への協力を行います。</li> </ul>	<p><b>[達成指標]</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① <input type="checkbox"/> 年間を通じて温度は20℃±2℃、湿度50%±2%とします。24時間温湿度・空気集中システムと、3基の自記式温湿度記録計にて常時監視し、管理は電気式パッケージエアコンで行います。</li> <li>② <input checked="" type="checkbox"/> pH値を定期的に測定し、測定結果に応じたケミカルフィルターを設置します。</li> <li>③ <input checked="" type="checkbox"/> 定期的に文化財食害虫生息調査を実施し、結果をもとに適正管理を行います。</li> <li>④ <input checked="" type="checkbox"/> 管理・保存、調査・研究については東京都写真美術館、日本カメラ博物館、横浜美術館などの専門機関の協力をあおぎながら進め、カメラ・写真の発達の歴史や、文化・風俗との関わりなどを発信します。</li> <li>⑤ <input checked="" type="checkbox"/> 講座実施や資料活用については、外部の専門家にも講師依頼をし、写真制作に関わる理解を推進します。</li> <li>⑥ <input type="checkbox"/> ショーケースギャラリーでは、資料を有効に活用し様々な切り口で展示を年4回行います。カメラ・写真コレクションの愛好者を増やすことを目指します。</li> </ol>
---	---

## 6 施設の管理に関する業務計画

### (1) 市民ギャラリーあざみ野専有部分における建物・設備・備品の適切な保守管理及び予防保全

<p><b>[業務内容]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 設備業者とともに建物・設備の保守管理を確実にを行います。展示室の壁面の補修や備品のメンテナンスなど、良好な状態を保ちます。</li> <li>● 法定点検を遺漏なく実施します。</li> <li>● 展示室やアトリエの空気調和や清掃を適切に行い、快適な環境維持に努めます。</li> </ul>	<p><b>[達成指標]</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① <input checked="" type="checkbox"/> 年間無事故を目指します。</li> <li>② <input checked="" type="checkbox"/> 修繕必要箇所に迅速に対応します。</li> <li>③ <input type="checkbox"/> 展示室壁面を年1回メンテナンス(塗り直し)します。</li> <li>④ <input checked="" type="checkbox"/> クレームの無い、快適な環境維持を目指します。</li> </ol>
---	---

### (2) 環境問題への配慮について

<p><b>[業務内容]</b></p>	<p><b>[達成指標]</b></p>
----------------------	----------------------

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 職員や利用者の廃棄物については、適切な管理、搬出を行います。</li> <li>● 光熱水費の削減に努めます。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① ■ゴミの分別を徹底し、排出量を抑えます。</li> <li>② ■利用者にはゴミの持ち帰りの原則を徹底し、必要な場合はゴミ袋を有料で販売します。 □電気や空調を無駄に使用しないよう心がけ、光熱水費を前年度比▲1%とします。</li> </ol>
---	---

## 7 その他実施計画

### (1) 危機管理対策の充実について

<p>[業務内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 危機の未然防止に努めるとともに緊急対応体制を整備し、事故発生時には市へ迅速に報告します。</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① ■緊急対応体制、危機管理マニュアルを随時更新し、危機の際には全員が一致して取り組みます。 □合同防災訓練を年間2回実施します。</li> </ol>
--	---

### (2) 保険及び損害賠償の適切な取り扱い、個人情報の保護への適切な措置、情報公開への積極的取り組みについて

<p>[業務内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 保険及び損害賠償について適切に取り扱います。</li> <li>● 個人情報保護、情報公開に適正に対応します。</li> <li>● ホームページを活用し、必要な情報を開示します。</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <p>賠償責任保険、レジャーサービス保険、動産保険に加入し、事故の発生に備えます。</p> <p>常に個人情報保護意識を持ち、集めた個人情報は規程に基づき適切に取り扱います。</p> <p>施設利用者向けの必要な情報は、施設ホームページにおいて速やかに公開します。</p>
--	--

### (3) 男女共同参画センター横浜北との連携について

<p>[業務内容]</p> <p>○事業面での協働</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多くの住民に足を運んでもらうとともに、当館をアピールすることを目指します。</li> <li>・ 企画段階から共同し、複合施設の相乗効果を発揮するとともに、双方の特色を活かした事業を行います。</li> </ul> <p>○運営面での協働</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常業務や定例の打ち合わせにおいて情報や意見の交換をし、「アートフォーラムあざみ野」の施設職員としての意識を高</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① □ロビーコンサートを通年で月2回実施し、エントランスの賑わいを創出するとともに、来館者に、気軽に芸術を鑑賞する機会を提供します。</li> <li>② □アートフォーラムフェスティバルを年1回実施し、施設の賑わいと人々の交流の場を創出します。来館者数2,500人以上。</li> <li>③ □女性と芸術文化をテーマにした「あざみ野サロン」、インターンシップ受け入れ等を共同の企画で実施し、来館者に幅広い鑑賞・体験の機会を提供します。</li> <li>④ □週1回の管理合同ミーティングを実施します(ギャラリー、センター、委託会社)。</li> <li>⑤ □月1回の職員合同ミーティングを実施します。</li> </ol>
--	--

<p>め、効果的な運営に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アートフォーラムあざみ野全体としての広報、施設の環境整備に対して引き続き協力して取り組みます。</li> </ul> <p>○維持管理面での協働</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委託会社を交えた定例の打ち合わせを確実に実施し、施設全体の適正な維持管理に共同で取り組みます。</li> </ul> <p>○委託会社にもそれぞれの財団のミッションや役割、事業内容、利用者の特性などについて伝え、有効な環境整備を推進します。</p>	
---	--

#### (4) 横浜アーティストデータベースの構築と運用について

<p><b>[業務内容]</b></p> <p>横浜におけるコンテンポラリーアートの展開と発展のために実施します。</p>	<p><b>[達成指標]</b></p> <p>① <b>■</b>経営企画グループ(広報担当)と共同でLOD 化を推進し、財団内で連携したデータベース整備を図ります。</p> <p><b>■</b>新進アーティストを継続して支援していくことを重要なミッションとして位置づけており、制作の支援、活動の紹介および発表の場の提供など積極的に取り組んでいきます。</p>
---	--

## 8 収支について

### (1) コスト削減への努力について

<p><b>[業務内容]</b></p> <p>適正な予算執行と業務の効率化による節減に努めます。</p>	<p><b>[達成指標]</b></p> <p>① <b>■</b>施設管理・事務事業にかかる経費を精査し、男女共同参画センターとも協力して、広報費や委託費(施設管理にかかるもの)等の効率的な予算執行をします。</p> <p><input type="checkbox"/>管理費は前年度比▲1%を目指します。</p>
---	---

### (2) 収入向上及び外部資金導入の努力について

<p><b>[業務内容]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 利用料金収入の安定的な確保に努めます。</li> <li>● 自主事業において、助成金・協賛金を獲得します。</li> </ul>	<p><b>[達成指標]</b></p> <p>① <input type="checkbox"/>利用料金収入(施設管理に係る負担金を含む)年間 1,200 万円以上を維持。</p> <p><input type="checkbox"/>助成金を 2 件申請し、協賛金・広告料とあわせて獲得目標 320 万円以上。</p>
---	--

( 3 ) 収支予算額について

収支予算書

( 単位 : 円 )

項目	予算額	備考
収入		
指定管理料収入	164,200,000	
利用料金収入	9,500,000	
事業収入	3,280,000	
その他収入	4,640,000	
合計	181,620,000	

支出		
人件費	68,385,000	
管理費	64,890,000	
事務費	12,145,000	
文化事業費	36,200,000	
合計	181,620,000	

収支計	0	
-----	---	--

## 【別紙 1】

### 自主事業一覧

#### 1 文化芸術に直接出会える場

No	実施時期	事業タイトル	会場	事業内容	入場見込(人)	事業費(円)
1	6月～7月	横浜 wo 発掘 suru 展 vol.2	展示室 1	横浜の優れた人材、芸術文化資源を発掘・展示する展覧会。	1,600	3,500,000
2	8月	あざみ野こどもぎや らりい 2012	展示室 1・2 アトリエ	子どもから大人まで楽しめる内容の展覧会。自由参加型のワークショップもあり。	3,800	3,300,000
3	10月～11月	あざみ野コンテン ポラリー2012	展示室 1・2 アトリエ ほか	さまざまなアーティストが現在行っている表現活動に目を向けた展覧会。	3,200	5,000,000
4	2月	横浜市所蔵カメラ・写 真コレクション+写 真展 2012	展示室 1・2	様々な切り口でコレクションを紹介し、写真の企画展をあわせて行う。	3,200	5,400,000

#### 2 市民やアーティストの創造活動の支援の場

No	実施時期	事業タイトル	会場	事業内容	入場見込(人)	事業費(円)
1	4月～3月	市民のためのプロ グラム	アトリエ	技術や材料、また道具や機材の扱いについての基礎基本の習得を目的としたものや、アーティストからレクチャーを受け、自らの表現に生かすワークショップなど。	延 800	2,000,000
2	4月～3月	市民協働事業 ショーケースギャラ リー	エントラン スロビー	新進アーティストの作品を紹介する小品展。	-	950,000
3	4月～3月	市民協働事業 あざみ野カレッジ	アトリエほ か	アートに関する様々なことを、多彩な講師たちから学ぶ講座。	200	700,000

#### 3 次代を担う子どもの創造性教育の場

No	実施時期	事業タイトル	会場	事業内容	入場見込(人)	事業費(円)
1	4月～3月	子どものためのプロ	アトリエ	保護者と子ども	8,200	3,700,000

		グラム 親子のフリーズ ーション ワークショップ 親子で造形ピク ニック		が自由に、粘土、 絵の具、紙工作に よる造形遊びを 楽しむ時間。 子どもを対象と した美術系のワ ークショップ。 個別支援学級や 特別支援学校に 通う親子を対象 にした造形の時 間。		
2	4月～3月	学校連携事業 教師のためのワー クショップ ティーチーズあ ざみ野プロジェクト アウトリーチ	アトリエ ほか	小・中学校の先生を 対象に鑑賞や実技に ついてのワークショ ップ等。 中学校・高 校美術研究会と連携 して美術と親しむ機 会を提供。 「横浜市教育文化事 業」と連携して実施。	と 20人 5回	300,000

#### 4 創造活動と社会、市民活動を結びつける場、創造活動を介した人々の関わり合いの場

No	実施時期	事業タイトル	会場	事業内容	入場見込(人)	事業費(円)
1	11月～1月	横浜北部公募展 青葉区民芸術祭	展示室1・ 2	横浜市北部4区から 公募した絵画を審査 のうえ展示。 青葉区の芸術祭の 開催。書道、写真、華 道の展示。区民の日頃 の文化活動の成果発 表の場の提供。	4,000 5,000	0
2	4月～3月	市民協働事業 街なかアートプロジ ェクト	館外	アート屋台で出張ワ ークショップを実施 するなど、アートの持 つ活力で街を元気に する事業。	-	150,000
3	4月～3月	市民協働事業 男女共同参画センタ ー横浜北 共同事業 フェローアート ギャラリー アートカフェ アートワゴン	2Fラウン ジ、アトリ エ、エント ランスロピ ー、 アートプラ ザほか	障がいのある人た ちのアート作品を紹 介するミニギャラリ ー。 市民とアーティスト とが語り合う場。 アーティストや障 がいのある人たちの アート作品を販売。	-	1,650,000

		あざみ野ナイト		アートフォーラムの壁面やガラスを使って映像作品を映し出すイベント。		
--	--	---------	--	-----------------------------------	--	--

#### 5 積極的な広報展開

No	実施時期	事業タイトル	会場	事業内容	入場見込(人)	事業費(円)
1	4月～3月	情報紙「アートあざみ野」HPによる情報提供		当館主催事業のほか貸館の展覧会情報などの広報のため活用。		1,900,000
2	4月～3月	ネット広報事業 あざみ野メンバーズ/あざみ野ネットワーク		メルマガ登録者を増やし、ホームページを活用して横浜のアート情報にアプローチしやすい体制を作る。		700,000

#### 6 カメラ・写真コレクションの適切な収蔵、保管、調査、研究、発表、活用、展示

No	実施時期	事業タイトル	会場	事業内容	入場見込(人)	事業費(円)
1	4月～3月	横浜市所蔵カメラ・写真コレクションの保存と活用	収蔵庫、展示室、エントランスロビー	データベース整備、適切な保存業務。 コレクションの魅力を広く紹介するための貸出、公開。		3,400,000

#### 7 男女共同参画センター横浜北との連携

No	実施時期	事業タイトル	会場	事業内容	入場見込(人)	事業費(円)
1	4月～3月	センター横浜共同事業 「Welcome ロビーコンサート」	エントランスロビー	市民広間演奏会のメンバーを中心に、多彩なジャンルの音楽で昼のひとときを楽しんでいただくミニコンサート。	2,500	900,000
2	10月21日	センター横浜北共同事業 アートフォーラムフェスティバル2012	全館	アートフォーラムあざみ野の開館を記念して毎年10月に全館あげて実施するフェスティバル。	2,500	500,000
3	11月～12月	センター横浜北共同事業	アトリエ、音楽室、工	小学生対象の合唱。ワークショップ9回と	30	450,000

		「クリスマスジュニアコーラス」	ントラ スロビー	本番(ロビーコンサート出演)1回。		
4	4月~3月	センター横浜北共同事業 「あざみ野サロン」ほか 舞台芸術系事業	レクチャー ルーム ほか	講演会やコンサートなど、女性と芸術文化をテーマにしたイベント。	400	1,500,000
5	8月~3月	センター横浜北共同事業 共催ワークショップ、 インターンシップ	アトリエ ほか	共通するテーマのワークショップ、高校生の職場体験、大学生インターンの受け入れ、協働での企画等。	20	150,000